

非常時（停電時）の各設定について

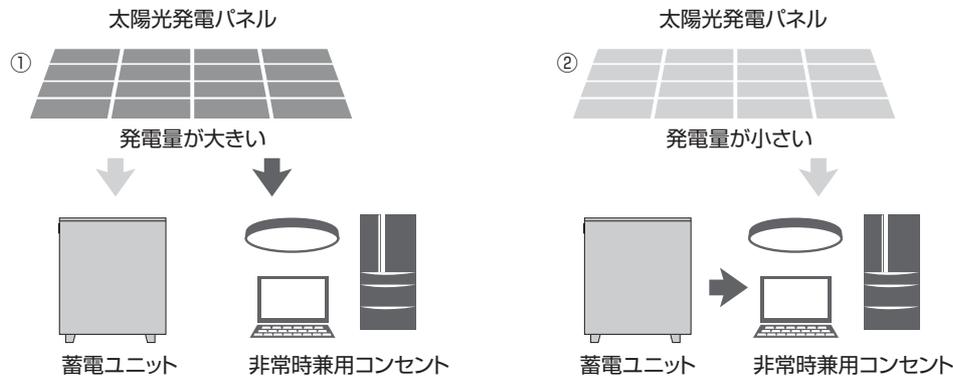
非常時運転モード

出荷時：「自動給電切換設定」

自動給電切換設定

太陽光発電電力と非常時兼用コンセントでの電力使用量を判断しながら、蓄電池からの放電や蓄電池への充電の切り替えを自動で行います。通常は、こちらをご利用ください。

※外付け太陽光発電の余剰電力を利用することはできません。



①太陽光発電電力を非常時兼用コンセントに給電し、余剰電力を蓄電池に充電します。

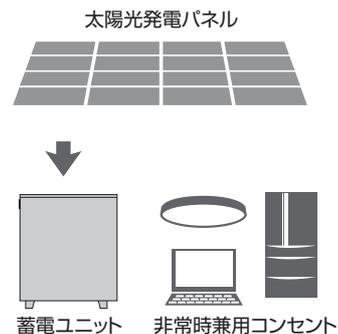
②太陽光発電電力が不足している場合や、発電していない場合は、蓄電池から非常時兼用コンセントに放電します。

強制充電設定

太陽光発電電力から蓄電池への充電のみ行います。

非常時兼用コンセントへの給電は一切行いません。

充電完了後は、「待機」状態となりますので、「自動給電切換設定」に切り替えてください。



非常時安心設定

出荷時：OFF

停電が発生しても、蓄電池から電気が使えるよう普段から設定した割合の充電残量を常に残しておく設定です。残量が設定値になると放電を停止します。もしもの停電や、台風、計画停電などの停電にあらかじめ備えるときは、「非常時安心設定」を切り替えることで、安心してお使いいただけます。前日までに切り替えてください。

- 設定値：OFF (0%)、30%、40%、50%、60%、70%

メモ

- 通常時に蓄電池残量が設定値 +5% 未満の場合は、誤作動防止のため放電を開始しません。
- 停電中や充電時間が極端に短くなるような、充電できない状態が続く場合、あるいは蓄電池の環境温度が低い場合には、非常時安心設定の指定蓄電池残量を下回ることがあります。
- 設定値 OFF により、停電時蓄電池残量がない場合は、太陽光が発電するまで停電中は電気を使用することができません。
- 出荷時は経済性を重視して OFF (0%) に設定しています。

【ご注意ください】

非常時安心設定を OFF (0%) にすると、深夜に充電した料金の安い電力をすべて使うことができますが、停電時に充電残量がない場合、翌日の太陽光が発電するまで停電中は電気が使用できません。

非常時（停電時）の各設定を選ぶ

停電になったときのために、自動給電切換および、非常時安心設定お客様のお好みに合わせて選択します。

- 製品出荷時の設定は次のとおりです。

非常時運転モード： [自動給電切換]
非常時安心設定： [OFF]

1 「蓄電池アイコン」をタッチする



「蓄電池設定」画面に切り替わります。

2 「自動給電切換」をタッチする



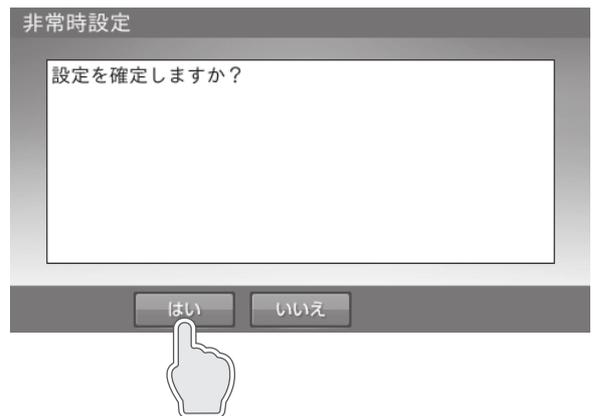
「非常時設定」画面に切り替わります。

3 非常時運転モード、非常時安心設定を変更後「確定」をタッチする



◀ / ▶をタッチして設定を変更します。

4 「はい」をタッチする

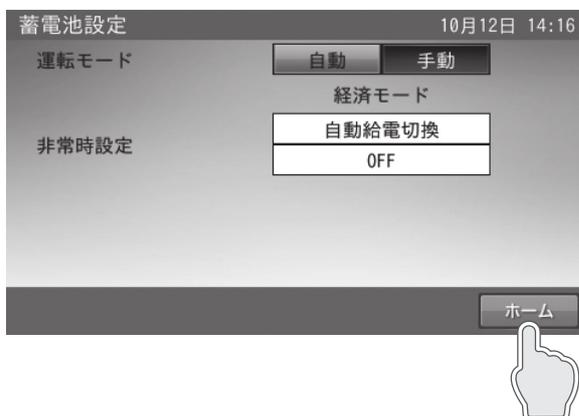


設定を変更して、「蓄電池設定」画面に戻ります。

メモ

「いいえ」をタッチすると、前の画面に戻ります。

5 「ホーム」をタッチする



ホーム画面に戻ります。

メモ

「キャンセル」をタッチすると、変更は確定されません。